

# 相生山緑地・ヒメボタルの里 ゾーニングの提案

【2014年6月】

ゾーン	内容・目標
相生山緑地(ヒメボタルの里) ネイチャーセンター	<p>■相生山緑地での環境教育・自然／地誌の紹介。■各種活動の拠点施設。■湧水を利用しビオトープの実験地。■育ててみよう、サギソウ・シラタマホシクサ・トウカイコモウセンゴケ・ミミカキグサ・・・。</p>
相生山緑地(ヒメボタルの里) ネイチャーセンターゾーン	<p>■ヒメボタルや貴重な種を守り、育てる（再生を含む）。■ネイチャーセンター周辺地域：徳林寺境内一部を含む。■ネイチャーセンター周辺地域の自然を豊かにする。■観察される野鳥：トラツグミ、コジュケイ・ルリビタキ・アカゲラ・コゲラ・シジュウカラ・メジロ・エナガ、他。■調べてみようヒメボタル。</p>
環境共生住宅地ゾーン	<p>■自然と調和した環境にやさしいモデル住宅地。■相生山緑地内事業予定地(約30ヘクタール)を含む緑地南部、西部。■水系ゾーンに出される家庭排水・汚水の浄化、自然エネルギーの利用・生ゴミ処理などのモデル地域（既住民の設備設置に対しては補助金対象とする）。■環境モニタリングに対応：行政・大学との連携・データ提供。■道路、上下水道など、自然環境との調和を考えて最低限の整備。■ヒメボタルの生息地。■新たな宅地化・建築は禁止する。転居などにより住民の減少に伴い、将来は徐々に自然の森に戻す。</p>
水系ビオトープゾーン	<p>■水辺動植物の再生を図る。■ため池による水辺の再生。■相生山緑地に東から西へ3本の沢のうち、南の沢を利用。■相生小学校地下タンクの水や家庭排水を利用し、せせらぎの復活。■水辺の動植物のいる場所を環境学習の場として提供。■自然再生事業を行う。</p>
森の生態系コアゾーン	<p>■貴重な野生生物を静かに見守り保護する場。■3本の沢のうち、中央の沢周辺、相生山緑地で自然が最も豊かに残されているところ。■ヒメボタルの観賞地。■よく観察される野鳥：キビタキ、オオタカ、ヤマシギ、コジュケイ、アカゲラ、カケス、コゲラなどの混群。■特徴的な植物：カマツカ、コ克蘭、シュンラン、エンシュウムヨウラン、タカノツメ、ヒメカンアオイ。■尾根部に特徴的な植物（チャート起源の貧栄養地層の特徴的な植生）：シャシャンポ、コバノミツバツツジ、ヤマツツジ（ミカワスツジ）、ウンヌケ、ジガバチソウ・・・ ■森のタイプ：尾根—アカマツ・コシダ、沢部—竹林、ヒノキ林、谷～尾根—コナラ中心の二次林■旧石器史跡</p>
里山田園ゾーン	<p>■里山の風景を残し、田園雑草を守る場。■オアシスの森相生口から西南地区、菅田口から東南地区。■よく観察される植物：ナズナ・ホトケノザ・ハコベ・ヒメオドリコソウ、カラスウリ他。■観察される野鳥：ウグイス・モズ・スズメ・アオジ・メジロ他。■ヒメボタル観賞地。</p>
ヒメボタルのハイライン公園ゾーン	<p>■森の生態系コアゾーンとマッチする、自然に最大限配慮した公園 ■西エリアはエンタランスエリアとする。災害時の避難場所、救援拠点にも利用可。■シェルターエリアは野外教育・調査・イベントなどの、拠点になる。■生態系コアゾーン隣接する東エリアは、極力自然に配慮をし、生き物に影響を与えないようにする場。</p>

# ヒメボタルの<sup>さとこうそう</sup>里構想の<sup>してん</sup>視点

## 1 <sup>じぞくかのう</sup>持続可能な<sup>しゃかい</sup>社会へ<sup>かち</sup>むけて<sup>てんかん</sup>価値の転換

<sup>かいはつ</sup>開発から<sup>しぜん</sup>自然との<sup>きょうせい</sup>共生

<sup>どうろかいはつ</sup>道路開発を<sup>としけいかくこうえん</sup>都市計画公園に<sup>どうろ</sup>（<sup>だいたいあん</sup>道路の代替案）

## 2 <sup>しぜん</sup>自然や<sup>ぶんか</sup>文化の<sup>れきし</sup>歴史が<sup>かん</sup>感じられる・・・<sup>ちいき</sup>地域のアイデンティティー

<sup>ひと</sup>人が<sup>しぜん</sup>自然を使いすぎた<sup>つか</sup>時代 <sup>じだい</sup>瘦せた<sup>やおね</sup>尾根

<sup>こよう</sup>古窯・<sup>あゆちがた</sup>魚市潟、<sup>じょうもん</sup>縄文・<sup>きゅうせつき</sup>旧石器

<sup>かいはつ</sup>開発の<sup>なみ</sup>波、<sup>かこ</sup>過去の<sup>もり</sup>森の<sup>せんい</sup>遷移

<sup>とちりよう</sup>土地利用

## 3 <sup>ゆたか</sup>豊かな<sup>しぜん</sup>自然を残すために＝<sup>せいぶつ</sup>生物の<sup>たようせい</sup>多様性を<sup>たもつ</sup>保つ

ゾーニング

<sup>うし</sup>失なわれた<sup>すいけい</sup>水系をどのように

<sup>かいはつ</sup>開発／<sup>がいらいしゅ</sup>外来種／<sup>かじょう</sup>過剰な<sup>いりこみ</sup>入込／<sup>たけやぶ</sup>竹藪／<sup>らんかく</sup>乱獲

## 4 <sup>りょくちじゅうみん</sup>緑地住 民への<sup>はいりよ</sup>配慮

<sup>へいせい29ねんど</sup>平成29年度に<sup>じぎょうか</sup>事業化

## 5 <sup>きょういく</sup>教育・レクリエーション（市民の利用）